

## 令和 7 年度市民意識調査の実施結果（回答状況）について

### 1. 調査の概要

令和 7 年度市民意識調査は、年代別回答数の偏り緩和やオンライン回答利用率の向上のため、第 2 回石岡市総合計画審議会でのご意見を踏まえながら実施方法を見直し、以下の内容で実施いたしました。

#### (1) 目的

総合計画における各政策目標の成果効果の検証や今後の事業展開の基礎資料の収集を目的として実施しています。なお、現在、市では「石岡市公共施設等総合管理計画」の改定作業を行っているため、今年度の市民意識調査では公共施設に関する項目を設けています（設問 6 「公共施設」分野）。

#### (2) 調査方法

- ① 16 歳以上の市民 3,000 人を無作為抽出し、調査票を郵送
- ② 返信用封筒による調査結果の回収のほか、オンライン回答を併用して実施
- ③ 調査期間：令和 7 年 12 月上旬～令和 8 年 1 月 15 日（木）

#### 《第 2 回石岡市総合計画審議会（前回）の結果を踏まえた対応》

	前回審議会（事務局案）	前回審議会（意見）	対応結果
1	「層化抽出方式※」の導入 ※世代層別人数を均等にする抽出方法	－	「層化抽出方式」を導入
2	実施期間の延長	－	調査実施期間を概ね 6 週間に延長（昨年度は約 4 週間）
3	封筒・調査票等のデザイン改善	－	封筒・調査票のデザインをリニューアル
4	－	オンライン調査の実施	市公式 LINE 登録者を対象としたオンライン調査の試行（今後の調査実施方法見直しに向けた試験実施）
5	－	・市の政策が分からない ・設問の内容・用語が難しい ・調査結果が何に使われるのか伝わらない	市の総合計画やリーディングプロジェクト、行政用語解説を 1 ペーパーにまとめて調査票に同封
6	－	回答者に対する謝礼やノベルティ（スマートフォンの待ち受け画像等のデジタルコンテンツ含む）	（今後に向けて検討） ※令和 5 年度調査から SDGs 啓発品を同封（令和 7 年度は市指定ごみ袋）
7	－	対象者の年代層別に調査の実施方法を変える	（今後に向けて検討）

## 2. 回答状況 ※市公式 LINE 登録者を対象としたオンライン調査の試行分は含めていません

### (1) 回答方法別集計

回答方法	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
紙（郵送）	857	904	1,004	622
オンライン	192	182	290	444
<b>合計</b>	<b>1,049</b>	<b>1,086</b>	<b>1,294</b>	<b>1,066</b>
オンライン回答利用率	18%	17%	22%	42%

※小数点以下四捨五入

### (2) 年代別集計

年代	令和6年度				令和7年度			
	① 回答数	② 回収率	③ オンライン 回答数	④ オンライン 回答利用率	① 回答数	② 回収率	③ オンライン 回答数	④ オンライン 回答利用率
若年層 (16-24歳)	66	26%	35	53%	177	24%	124	70%
壮年層 (25-44歳)	216	33%	102	47%	256	34%	159	62%
中年層 (45-64歳)	407	44%	122	30%	297	40%	135	45%
老年層 (65歳以上)	546	47%	31	6%	303	40%	26	9%
年齢未記入	59	—	0	0%	33	—	0	0%
<b>合計</b>	<b>1,294</b>	<b>43%</b>	<b>290</b>	<b>22%</b>	<b>1,066</b>	<b>36%</b>	<b>444</b>	<b>42%</b>

※小数点以下四捨五入

《項目説明》① 回答数：郵送回答とオンライン回答の合計

② 回収率：回答数（①）÷ 調査対象数

③ オンライン回答数：回答数（①）のうちオンラインで回答があった数

④ オンライン回答利用率：オンライン回答数（③）÷ 回答数（①）

### (3) 総括

令和7年度市民意識調査の回答状況を見ると、全体として回答数は減少しているものの回答率は3割以上となりました。そのうち、オンライン回答利用率は前年度に比べて約2倍まで増加しています。

年代別の回答状況では、回収率は全体的にやや減少傾向にありますが、概ね前年度横ばいとなっています。また、層化抽出方式の導入により、世代間での回答数の差が小さくなりました。

## 3. 今後について

令和7年度市民意識調査については、3月までに回答結果の集計及び分析を実施し、総合計画における各施策等の成果効果の検証に活用いたします。集計、分析及び評価結果は、令和8年度第1回総合計画審議会にて報告させていただく予定です。